

# 各診療科推奨モデルコース

## 消化器外科専門医養成コース

モデルコースの研修順は一例で、実際の研修順は異なる場合があります。

必修内科

必修救急

選択必修

選択

1年目												2年目											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
消化器外科 (選択1)			救急			内科						呼吸器外科 (選必1)		小児外科 (選必2)		循環器外科 (選必3)		腺外 (地域ブロック1ヵ月) (選択3)			消外又は院外 (選択2)		

(コメント)

消化器外科は、一般外科から各臓器の専門まで、広い範囲をカバーする領域です。そのため、消化器外科医には一般外科の知識が必要不可欠なものとなります。現在の学会の制度でも、消化器外科領域は外科専門医取得の後に続く、サブスペシャリティと位置付けられており、先ず外科学会の専門医取得が必要とされ、その後で消化器外科専門医の取得になります。当院での研修の特徴は、将来消化器外科医を目指す研修医にとって必要な外科学会専門医取得のための症例経験を早期(2年以内)に積むことにより、3年目以降消化器外科医として専心できるプログラムとなっています。また、腹部臓器として希望者には婦人科や泌尿器科をローテーションすることや、消化器外科の選択として院内もしくは院外(一般外科を含めて)での研修も可能です。